

広島高速建築物保守点検等業務

特記仕様書

令和4年8月

広島高速道路公社

1 章 総則

1-1 総則

本特記仕様書は、設計図書等の内容についての統一的な解釈及び運用を図り、適切な業務遂行のために必要な事項を定めるものである。

1-2 業務概要

(1) 業務名称

広島高速建築物保守点検等業務

(2) 業務場所

広島市東区温品一丁目外（「位置図」参照）

(3) 業務期間

契約締結の日から令和5年3月31日まで

(4) 業務目的

広島高速道路に設置する建築物の構造物定期点検（5年に1回）及び各年度ごとの屋根及びびといの清掃を行うことによって、建築物の正常な機能維持を図ることを目的とする。

(5) 業務内容

業務内容は以下のとおりとする。

1) 保守点検業務

①建築物（管理基地、料金所等）点検に関する定期点検

② ①の業務に係わる記録の整理

2) 清掃業務

①建築物（管理基地、料金所等）の屋根及びびといの清掃

② ①の業務に係わる記録の整理

の写しを監督員に提出すること。

(2) 廃棄物の処理を委託する場合は、事前に委託契約書の写しを監督員に提出すること。

2-8 業務中の安全確保に関する事項

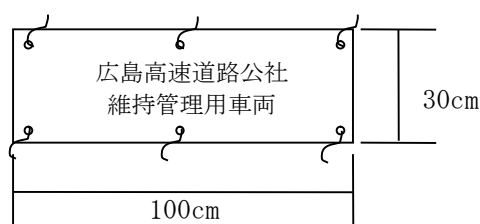
2-8-1 作業員の服装

作業員の服装は、その所属を容易に識別できるものを着用するものとする。

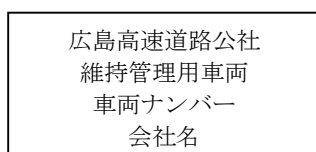
2-8-2 業務用車両の表示

受注者は、本業務に使用する車両について一般の車両と明確に区分するため、下記様式の名板を車両に掲げるとともに、黄色回転灯を点灯できるようにしなければならない。

(1) 車両用垂れ幕（黄地黒文字，車両後部取付け，6箇所紐付 ※マグネット式でもよい）



(2) 車両用表示シート（A4サイズ，車両運転席前）



2-8-3 業務用車両・作業員等の安全対策

(1) 受注者は、業務用車両の運行に際し、一般交通及び沿道住民に迷惑を与えないよう十分に留意し、事故を未然に防ぐよう努めるとともに、運転者に対し日常の管理指導を十分に行わなければならない。

(2) 受注者は、業務用車両の現場の出入りに際して、一般交通を極力阻害しないように努め行わなければならない。

(3) 作業員は、ヘルメット，安全チョッキの着用を義務づけ，自らの安全対策を徹底させるものとする。但し，事務所及び基地の建屋内での作業については，適切な安全対策を実施することとし，ヘルメット，安全チョッキの着用義務を免除する。

また，夜間作業の際には，自発光式の安全機材を積極的に採用し，一般車両への注意喚起，現場内の安全性向上に努めるものとする。

2-8-4 現場作業の安全対策

現場作業従事者は，業務責任者の指揮の下に，安全で且つ無災害の現場環境の保持に努めること。

特に危険の多い高所作業での各種作業においては，事前の点検，確認を十分行うとともに，作業従事者の健康管理に配慮し，現場作業の安全対策に万全を期することとする。

- (2) 保守点検、清掃業務の実施時間は、通常昼間9時から17時、夜間20時から翌6時までとする。但し、事故・故障時等の緊急対応についてはこの限りではない。
- (3) 保守点検、清掃業務の実施時間については、関係官公署との協議の結果で変更された場合は、その指示に従わなければならない。なお、変更が生じた場合は、監督員と協議を行うこととし、変更契約の対象とする。
- (4) 業務の実施にあたって、監督員が作業時間及び時間帯変更を指示した場合は、それに従わなければならない。なお、変更が生じた場合、監督員と協議を行うこととし、変更契約の対象とする。

3章 建築物（管理基地，料金所等）点検及び屋根等清掃業務

3-1 業務概要

(1) 業務内容

広島高速道路に設置する建築物の構造物定期点検（5年に1回）及び各年度ごとの屋根及びといの清掃を行うものである。

(2) 点検場所及び点検対象

No.	路線名	点検場所	点検対象
1	高速1号線	広島市東区福田町 ～東区温品二丁目	料金事務所，電気室，料金所，管理基地・車庫・ 雪氷施設・消火水槽，管理棟，PA（公衆便所・ 休憩所）
2	高速2号線	広島市東区温品町 ～南区仁保沖町	料金所，電気室
3	高速3号線	広島市南区仁保沖町 ～西区観音四丁目	管理基地，倉庫・車庫・維持管理詰所，電気室， 料金所
4	高速4号線	広島市西区中広一丁目 ～安佐南区大塚東町	管理基地，電気室・ポンプ室，消火水槽，車庫・ 雪氷待機室・雪氷施設，料金所，ETC待機室
5	なし	広島市東区温品一丁目	本社

(3) 点検の実施時期

契約締結の日から令和5年3月31日までの間に実施すること。

(4) 点検方法について

点検は、以下のパンフレット（以後パンフ）及び点検要領に準じて実施するものとする。

- 1) 国家機関の建築物等の点検（パンフ）[令和3年度版：国土交通省大臣官房官庁営繕部]
- 2) 横断歩道橋点検要領 [平成31年2月：国土交通省 道路局 国道・防災課]

3-2 点検員の資格要件

点検員は、建築物の変状・異常を確実に把握し、利用者被害を防止するための応急措置、応急対策及び調査の必要性など専門的な判断が求められる。このため、以下の建築物に関する設計、施工や維持管理等の専門的知識及び技能を有する者とする。ただし屋根及びといの清掃のみの場合は、特に資格を求めない。

建築物定期点検点検対象数量表

路線名	施設名	部位名	面積、数量	備考
1号線	都市高速広島東料金事務所	屋根	355.16㎡	とい、ドレン含む
		バルベット	86.50㎡	
		軒天井及び庇下床	53.34㎡	
	福田電気室	屋根	94.00㎡	
		バルベット	91.00㎡	
		軒天井及び庇下床	24.34㎡	
	都市高速広島東料金所	キャノピー	570.80㎡	とい、ドレン含む
		キャノピー天井	570.80㎡	
		バルベット	123.20㎡	
	福田料金所	照明	36個	
		キャノピー	409.41㎡	とい、ドレン含む
		キャノピー天井	409.41㎡	
		バルベット	62.00㎡	
	馬木管理基地・車庫・雪水施設・消火水槽・倉庫	照明	23個	
		屋根	604.39㎡	計5棟 とい、ドレン含む
		バルベット	102.00㎡	
	馬木電気室	軒天井及び庇下床	151.51㎡	
		点検口	2か所	
		屋根	151.00㎡	とい、ドレン含む
	馬木料金所	バルベット	65.90㎡	
軒天井及び庇下床		32.04㎡		
キャノピー		312.31㎡	とい、ドレン含む	
温品管理棟	キャノピー天井	312.31㎡		
	バルベット	82.40㎡		
	照明	24個		
温品PA(公衆便所・休憩所)	屋根	64.51㎡	とい、ドレン含む	
	軒天井及び庇下床	39.35㎡		
	休憩所屋根	57.50㎡	とい、ドレン含む	
	休憩所天井	57.50㎡		
	休憩所バルベット	31.15㎡		
	休憩所照明	3個		
	便所屋根	92.30㎡	とい、ドレン含む	
便所トリアイト	3か所			
温品料金所	便所バルベット	38.40㎡		
	キャノピー	150.50㎡	とい、ドレン含む	
	キャノピー天井	150.50㎡		
間所料金所	バルベット	61.60㎡		
	照明	8個		
	キャノピー	322.40㎡	とい、ドレン含む	
	キャノピー天井	322.40㎡		
2号線	矢賀料金所	バルベット	101.60㎡	
		照明	24個	
		キャノピー	322.40㎡	とい、ドレン含む
		キャノピー天井	322.40㎡	
	府中電気室	バルベット	47.00㎡	
		屋根	120.00㎡	とい、ドレン含む
		キャノピー	322.40㎡	とい、ドレン含む
	府中料金所	キャノピー	322.40㎡	とい、ドレン含む
		キャノピー天井	322.40㎡	
		バルベット	101.60㎡	
		照明	24個	
	大州料金所	キャノピー	322.40㎡	とい、ドレン含む
キャノピー天井		322.40㎡		
バルベット		101.60㎡		
照明		24個		
東雲電気室	屋根	112.50㎡	とい、ドレン含む	
	バルベット	45.00㎡		
	キャノピー	338.65㎡	とい、ドレン含む	
	キャノピー天井	338.65㎡		
東雲料金所	バルベット	104.10㎡		
	照明	24個		
	キャノピー	384.15㎡	とい、ドレン含む	
	キャノピー天井	384.15㎡		
仁保料金所	バルベット	108.90㎡		
	照明	30個		
	野外陸橋	1か所	床高5.17m 約W1m×L30m 屋根有	

位置図



- ① 広島高速道路公社
- ② 都市高速広島東料金事務所、都市高速広島東料金所、福田料金所、福田電気室
- ③ 馬木管理基地・車庫・雪氷施設・消火水槽、馬木電気室、馬木料金所
- ④ 温品管理棟、温品P A (公衆便所・休憩所)
- ⑤ 間所料金所
- ⑥ 矢賀料金所
- ⑦ 府中料金所、府中電気室
- ⑧ 大州料金所
- ⑨ 東雲料金所、東雲電気室
- ⑩ 仁保料金所
- ⑪ 宇品管理基地・倉庫・車庫・維持管理詰所、宇品電気室、宇品料金所
- ⑫ 出島料金所、出島電気室
- ⑬ 吉島料金所

- ⑭ 江波電気室
- ⑮ 観音料金所
- ⑯ 沼田料金所、沼田管理基地、沼田電気室・ポンプ・消火水槽、沼田車庫・雪氷待機室・雪氷施設
- ⑰ 沼田 ETC 待機室
- ⑱ 中広電気室・ポンプ室・消火水槽

個別点検項目一覧表

広島高速1号線			
場所	確認事項の概要	保守点検項目	備考
都市高速 広島東料金事務所	屋根	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びとい共	屋根面積:355.16㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	88.5m
	軒天井及び庇下端	汚損、損傷の確認、シーリング補修	軒天:53.34㎡
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
福田電気室	屋根	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びとい共	屋根面積:94㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	51m
	軒天井及び庇下端	汚損、損傷の確認、シーリング補修	軒天:24.34㎡
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
都市高速 広島東料金所	キャンピー屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びとい共	屋根面積:670.80㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:670.80m
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	123.20m
	照明	固定確認	36個
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
福田料金所	キャンピー屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びとい共	屋根面積:409.41㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:409.41㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	62m
	照明	固定確認	23個
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
馬木管理基地 車庫 雪氷施設 消火水槽 倉庫	屋根	汚損、損傷の確認、シーリング補修	屋根面積:604.39㎡
	軒天井及び庇下端	汚損、損傷の確認、シーリング補修	161.51㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	102m
	点検口	汚損、損傷の確認、シーリング補修	
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
馬木電気室	屋根	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びとい共	屋根面積:151㎡
	軒天井及び庇下端	汚損、損傷の確認、シーリング補修	32.04㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	65.90m
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
馬木料金所	キャンピー屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びとい共	屋根面積:312.31㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:312.31㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	82.4m
	照明	固定確認	24個
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
温品管理棟	屋根	汚損、損傷の確認、シーリング補修	屋根面積:64.51㎡
	軒天井及び庇下端	汚損、損傷の確認、シーリング補修	39.36㎡
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	

個別点検項目一覧表

広島高速1号線			
温品PA	屋根(休憩所)	汚損、損傷の確認、シーリング補修	屋根面積:57.5㎡
	天井(休憩所)	ボルトの緩み	天井面積:57.5㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	31.16m
	屋根(公衆便所)	汚損、損傷の確認 ルーフトレン及びとい共	屋根面積:92.30㎡
	トップライト	汚損、損傷の確認、シーリング補修	
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	38.4m
	照明	固定確認	3個
温品料金所	キャンピー屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びとい共	屋根面積:150.5㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:150.5㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	61.6m
	照明	固定確認	8個
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
間所料金所	キャンピー屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びとい共	屋根面積:322.4㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:322.4㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	101.6m
	照明	固定確認	24個
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	

個別点検項目一覧表

広島高速2号線			
矢賀料金所	キャンピー屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びとい共	屋根面積:322.4㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:322.4㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	101.6m
	照明	固定確認	24個
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
府中電気室	屋上	防水層の汚損・損傷の確認、シーリング補修 ルーフトレン及びとい共	屋根面積:120㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	47m
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
府中料金所	キャンピー屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びとい共	屋根面積:322.4㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:322.4㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	101.6m
	照明	固定確認	24個
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
大州料金所	キャンピー屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びとい共	屋根面積:322.4㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:322.4㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	101.6m
	照明	固定確認	24個
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
東雲電気室	屋上	防水層の汚損・損傷の確認、シーリング補修 ルーフトレン及びとい共	屋根面積:112.5㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	45m
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
東雲料金所	キャンピー屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びとい共	屋根面積:338.65㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:338.65㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	104.10m
	照明	固定確認	24個
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
仁保料金所	キャンピー屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びとい共	屋根面積:384.15㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:384.15㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	108.90m
	照明	固定確認	30個
	野外陸橋	汚損、損傷の確認、手すり共	床高6.17m 約W1m×L30m屋根有
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	

個別点検項目一覧表

広島高速3号線			
宇品管理基地 営業所 倉庫 車庫	屋根	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びびとい共	屋根面積:471.16㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	179.85m
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
宇品電気室	屋上	防水層の汚損・損傷の確認、シーリング補修 ルーフトレン及びびとい共	屋根面積:155.87㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	57.9m
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
宇品料金所	キャンピー屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びびとい共	屋根面積:322.40㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:322.40㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	99.8m
	照明	固定確認	24個
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
出島電気室	屋上	防水層の汚損・損傷の確認、シーリング補修 ルーフトレン及びびとい共	屋根面積:116.25㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	46m
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
出島料金所	キャンピー屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びびとい共	屋根面積:322.40㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:322.40㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	100.98m
	照明	固定確認	24個
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
吉島料金所	キャンピー屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びびとい共	屋根面積:322.40㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:322.40㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	97.4m
	照明	固定確認	24個
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
江波電気室	屋上	防水層の汚損・損傷の確認、シーリング補修 ルーフトレン及びびとい共	屋根面積:105㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	43m
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
観音料金所	キャンピー屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びびとい共	屋根面積:419.90㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:419.90㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	90m
	照明	固定確認	36個
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	

個別点検項目一覧表

広島高速4号線 + 本社			
沼田管理基地 営業所	屋上	防水層の汚損・損傷の確認、シーリング補修 ルーフトレン及びとい共	屋根面積:448.47㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	118m
	点検口	汚損、損傷の確認、シーリング補修	
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
沼田電気室 ポンプ 消火水槽	屋上	防水層の汚損・損傷の確認、シーリング補修 ルーフトレン及びとい共	屋根面積:468㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	131.20m
	点検口	汚損、損傷の確認、シーリング補修	
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
沼田車庫 雪水待機室 雪氷施設	屋上	防水層の汚損・損傷の確認、シーリング補修 ルーフトレン及びとい共	屋根面積:141.95㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	81.84m
	軒天井及び庇下端	汚損、損傷の確認	22.49㎡
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
沼田ETC待機室	屋上	防水層の汚損・損傷の確認、シーリング補修 ルーフトレン及びとい共	屋根面積:29.5㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	23.76m
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
沼田料金所	キャンपी屋上	汚損、損傷、シーリング補修、ボルトの緩み増締め ルーフトレン及びとい共	屋根面積:420.80㎡
	キャンピー天井	ボルトの緩み	天井面積:420.80㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	116.60m
	照明	固定確認	36個
	野外陸橋	汚損、損傷の確認、手すり共	床高6.17m 約W1m×L30m屋根有
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
中広電気室 ポンプ 消火水槽	屋上	防水層の汚損・損傷の確認、シーリング補修 ルーフトレン及びとい共	屋根面積:354.10㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	104.20m
	点検口	汚損、損傷の確認、シーリング補修	
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	
本社	屋上	防水層の汚損・損傷の確認、シーリング補修 ルーフトレン及びとい共	屋根面積:354.10㎡
	パラペット	汚損、損傷の確認、シーリング補修	104.20m
	屋上手すり	緩み、汚損、損傷の確認 丸環を含む	60.68m
	清掃	屋上、とい、ドレンの清掃	

点検結果表

路線名		点検日 (曜)	
施設名称		点検時間	
ON・OFF・レーン等		点検者	

番号	点検項目	点検結果			
		状態良	経過観察	要補修	緊急
1	屋上及び屋根				
(1)	屋上面・屋根面	屋上面の劣化及び損傷の状況			
(2)		脱気筒の劣化及び損傷の状況			
(3)	屋上周り (屋上面・屋根面を除く。)	パラベットの立上り面の劣化及び損傷の状況			
(4)		笠木モルタル等の劣化及び損傷の状況			
(5)		金属笠木の劣化及び損傷の状況			
(6)		シーリングの劣化及び損傷の状況			
(7)		トップライト、点検口等の劣化及び損傷の状況			
(8)		排水溝 (ドレーンを含む。)、樋の劣化及び損傷の状況			
(9)	天井、軒天井、庇下端	ボルト等の固定状況			
(10)		仕上げの劣化及び損傷の状況			
(11)	照明器具、懸垂物等	照明器具、懸垂物等の落下防止対策の状況			
(12)	手すり	手すりの設置の状況、劣化及び損傷の状況			
(13)	陸橋	手すりの設置の状況、劣化及び損傷の状況			
(14)		陸橋各部の劣化及び損傷の状況			

特記事項

番号	点検項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等

(注意)

- ① この書類は、建築物等ごとに作成してください。
- ② ボルトやビス等の緩みで軽微なものは点検時に増し締めし、特記事項等に記載し、報告すること。
- ③ 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当調査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「点検結果」欄は該当する項目に○印を記入してください。
- ⑥ 「特記事項」は、点検の結果、要補修以上の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する点検項目の番号、点検項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善 (予定) 年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善 (予定) 年月」欄に当該年月を () 書きで記入してください。
- ⑦ 配置図及び各階平面図を添付し、指摘 (特記すべき事項を含む) のあった箇所や撮影した写真の位置等を明記してください。
- ⑧ 要補修又は緊急とされた点検項目については、要補修・緊急とされた部分を撮影した写真を添付してください。

関係写真

部位	番号	調査項目	調査結果
			<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
写真貼付			特記事項
		
		
		
		
		
		
		
		
		

部位	番号	調査項目	調査結果
			<input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他
写真貼付			特記事項
		
		
		
		
		
		
		
		
		

(注意)

- ① この書類は、調査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「部位」欄の「番号」、「調査項目」は、それぞれ別記様式の番号、調査項目に対応したものを記入してください。
- ④ 「調査結果」欄は、調査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。